

令和7年度 学校安全優良校推薦資料

推薦者名称

武豊町教育委員会教育長 榊原寛二

【推薦理由】

- 時と場に応じ、安全に留意して対処できる能力を養うため、防災への意識を高める教育活動を実践している。
- 防災リーダーの生徒を中心に、救急訓練や避難訓練に参画する機会を設けており、主体的に安全教育に関わる生徒の育成をしている。
- 多様な災害を想定し、関係機関や家庭・地域との連携を図りながら、生徒の命を確実に守ることのできる防災体制の確立を進めている。

ふりがな 学校(園)名	たけとよちようりつふ きちゅうがっこう 武豊町立富貴中学校		
所在地	〒470-2521 愛知県知多郡武豊町東大高熊野西8		
ふりがな 校(園)長名	なかむら こうじ 中村 浩二	電話番号	0569-72-0271
メールアドレス	fukichu@tac-net.ne.jp	ファックス番号	0569-73-8069

1 学校(園)の概要 (人数及び学級数は、令和7年5月1日現在)

教職員数	46人				
学級数	14学級				
幼児児童 生徒数	355人				
管理下の 重大事故	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	死亡事故	0件	0件	0件	0件
	障害事故	0件	0件	0件	0件
過去の 表彰受賞歴	特になし				

2 学校安全に関する特色ある取組や研究実践

本校は、知多半島の中央部にある緑に囲まれた自然豊かな学校である。地域の方も協力的で、保護者、地域、学校で子どもたちの成長を見守っている。

本校の校訓は「ただしく つよく あたたく」である。経営方針として、「学校は子どもが幸せになるためにある」としている。また、あらゆる実践を通して、目指す生徒像である3つのところ「知」「情」「意」を育てている。「知（こころ）」とは、ただしいとは何か、ともに考えともに実践することである。「情（こころ）」とは、感謝と敬意を基本に、自他の生命や人権、存在を大切にすることである。「意（こころ）」とは、自らの「やりたい」に向き合う機会を設け、さらなる「やりたい」を育てることである。

本校のPTA、地域の活動の中に「富貴中ファミリー会」や「フラワースタッフ」の活動がある。グラウンドの整備をしたり、教室や体育館のロッカーの修理をしたり、中庭の手入れをしたりと参加者（保護者、地域住民）が自分たちの得意分野をいかし、学校の環境整備を行ってくれている。

そのような大人の姿に影響をうけ、校内では、生徒によるボランティア活動が行われている。例えば、毎朝8時から10分間ほど、正門から昇降口への道をほうきで掃き、落ち葉や花びら、ゴミを集め、通路をきれいにする活動である。このボランティアには、20名ほどの生徒が自分の意思で参加している。昨年度までは、参加者が3年生のみだったが、これまでの3年生の姿を見たり、ボランティア活動をする兄弟の姿を見たりして、今年度は、1年生や2年生も参加している。

また、夏休みに武豊町防災交通課と武豊町防災ボランティアの会が共催している、防災リーダー養成講座へ参加する生徒も、昨年度は6名、今年度は10名と増加している。このように参加する生徒が増えた理由の一つとして、昨年度の活動を見たことで、今年度はやってみようと生徒が自主的に考えたことが挙げられる。自分が過ごす学校を安全に過ごせる場所、安心して過ごせる場所にしたいと生徒自らが考える習慣が育まれつつある。これは、始めに述べた3つの「こころ」の育成が具現化しつつあるものと捉えている。

3 学校安全に関する取組

(1) 安全教育について

資料No. ① ②

本校では、計画的に避難訓練（火災・地震）を行っている。

令和6年度の火災避難訓練は、防災リーダーが夏休みに学習してきたことをいかして、生徒が作成した救急訓練の案で実施した。消防署の方を講師に招き、動けない人を担架で運ぶ方法について、教えていただいた。生徒や教師が参加し共に学び合う場となった。【資料①】

地震避難訓練では、防災リーダーの生徒たちが「いきなり避難訓練」を計画し実施した。生徒も教師も実施日を知らされずに行われ、対応力を磨く訓練となった。【資料②】

(2) 安全管理について

資料No. ③

危機管理マニュアルの見直しをし、不審者侵入防止の3段チェック体制について、危機管理マニュアルに追記した。具体的な方策として、校門（正門、北門）へ防犯カメラの設置、校門から校舎入口までの案内、死角の排除、校舎への入口では、名札の着用や来賓玄関で来訪者の確認をすること、入口の指定・明示をすることである。何かあった場合は、速やかに危機管理マニュアルに従って行動できるように、職員が危機管理マニュアルをすぐに見られるように整備し、見直しも継続している。【資料③】

(3) 家庭・地域等との連携について

資料No. ④

本校は、武豊町の一次開設避難所（優先的に開設する避難所）として指定されている。また、大足区、東大高区の地区別避難所としても指定されている。そこで、「武豊町避難所運営マニュアル」と「地震・津波災害マニュアル」に基づいて、武豊町役場からは防災交通課の職員や防災専門官（元自衛官）、地域からは区長や副区長や防災役員が参加し、学校職員と「富貴中学校避難所開設の際における学校開放マニュアル」を作成した。校舎内への避難も想定されるため、どの教室が何の部屋になるのか分かるように富貴中避難所案内図（生徒有版、生徒無版）も作成した。【資料④】

(4) その他特すべき内容

資料No. ⑤

学校保健委員会で名古屋市港防災センター防災教育アドバイザー 前 J I C A（国際協力機構）防災教育担当専門家の近藤ひろ子氏を講師に招き、『考えてみよう！「いのち」と「災害」』と題して、お話をいただいた。いざというときに「命」「支え合い」「自ら動く」ことが大事だということ、中学生が動くことで小学生も動く、大人にも「がんばる心」がわきあがってくることを知ることができた。また、避難する前にできること、避難するときに見えること、避難所でできることも考えることができた。「いのち」について、「防災」について多くのことを学ぶことができた。【資料⑤】